

クライマックスシーケンス

※場転の時に「抗錬成獣剤を投与する」を選択した場合、エリクサーが徐々に抜けていく様子を描写してください。ツトムの体から光が発せられ、言葉もたどたどしくなって行きます。

術式が狭まっていき、ついにツトムの居場所が突き止められてしまいます。(場転の時に薬品を打っていても、エリクサーが抜けていく残滓を捕捉されてしまいます。)すぐにケネスが空から現れ、ツトムの様子を確認します。

ケネス「やっと見つけましたよ。ここまでよく手間を取らせてくれましたね」

「しかしねえ……その錬成獣には暴れ回ってもらわないと。でないと、私が無害な動物をいたぶる悪者に見えてしまうでしょう？ ヘルメスの誇り高き錬金術師に、そのようなイメージがついてしまっただけは困るんですよ！」

そう言うと、ケネスは懐から銃を取り出します。ケネスが銃の引き金を引くと、中から注射器のようなものが発射されました。注射器はケネスが得意とする風の錬金術によって弾道を操作され、ツトムに命中しました。そのまま注射器に入っていた薬剤が、ツトムの体内に打ち込まれていきます。

▼抗錬成獣剤を投与した場合

薬品を打ち込まれたツトムですが、抗錬成獣剤が効果を発揮しているようです。ツトムの体から発せられる光が弱まり、消耗はしているものの会話ができる様子です。

ケネス「なんと、私特製の狂化薬が効かない……？ あれの中和薬は、仮にレシビを持っていても簡単に準備できるものではないはず……。一体どういうからくりかはわかりませんが、実に不愉快です……」

「できれば、この手は取りたくなかった……。これをしたら、自分で自分に歯止めを利かせられなくなりそうでしたから……!」

ケネスが発するエリクサーと、PCたちが発するエリクサーが空中で激しくぶつかり合います。空間にヒビが入り、周囲の環境が書き換えられていきます。

「錬成獣を庇う錬金術師は、もはや錬成獣と同等！ 話の通じない獣以下です！ こうなったら、その錬成獣もろともあなた方には消えてもらいましょう!」

レゾナシスが展開され、その場はジャングルのように木々が生い茂っています。レゾナシスに入り込んだケネスの部下も現れ、戦闘が開始されます。

▼抗錬成獣剤を投与しなかった場合

薬品を打ち込まれたツトムは、うめき声を上げてうずくまります。その体は次第に大きくなり、熊をも超える巨体になりました。全身の体毛が伸び、爪と牙が鋭利になっていきます。瞳からは光が消え、PCたちのことを認識できていない様子です。

ケネス「おやおやおや！ こんなところに危険な錬成獣がァ！ これは排除しなければなりませんね……。あなた方、その危険生物を仕留めるのを手伝ってください!」

「できない、ですって……？ はあ、全くこれだから神祖ヘルメスのご威光を理解できない錬金術師は……。危険生物の次に、あなた方を狩ってさしあげましょう!」

ケネスが発するエリクサーと、PCたちが発するエリクサーが空中で激しくぶつかり合います。空間にヒビが入り、周囲の環境が書き換えられていきます。レゾナシスが展開され、その場はジャングルのように木々が生い茂っています。レゾナシスに入り込んだケネスの部下も現れ、戦闘が開始されます。

戦闘の開始処理

①戦闘終了条件の確認

勝利条件: 全エネミーの戦闘不能

※ツトムが登場した場合、ツトムの戦闘不能も追加

敗北条件: PC全員の戦場から離脱

○登場エネミー

- ・ケネス・ランディ
- ・ヘルメス純血派

○特殊な条件

- ・ツトムがいる場合、ケネスは積極的にツトムの身体を狙ってください。

②「場転の時」の処理

ツトムに抗錬成獣剤を投与していない場合、「ツトム(暴走状態)」を第三勢力として登場させてください。

エンディング

クライマックスの戦闘の勝敗と、終了時点でのツトムの生死に応じて、エンディングの描写を行ってください。なお、ツトムにとどめを刺したのがPCだった場合、その行動を取った理由を述べさせてください。

▼ツトムが死んだ状態で、ケネスに敗北した場合

ケネスは悠然と空中に浮かび、満身創痍のPCたちを見下ろしています。

ケネス「少々手こずりましたが、所詮私の敵ではなかったということですね。あなた方も、この錬成獣に関わらなければ平和に過ごせたものを……」

「何はともあれ、これで私の目標は達成です。またひとつ、錬成獣を消すことができました。神祖ヘルメスに、汚らしい獣を見せずに済む世界に一步近づけた……」

ケネスは満足そうな笑みを浮かべて、空を飛んでいきます。

▼ツトムが生きた状態で、ケネスに敗北した場合

※以下の描写を行った後、「ツトムが死んだ状態でケネスに

敗北した場合」のエンディングに繋げてください。

ツトムを守ろうとはしましたが、ケネスに勝つことはできませんでした。ツトムは目に涙を浮かべ、悲しそうにPCたちを見つめています。

ツトム「みんな……俺のせいで、本当にごめん……。PC①、どうか、人を信じることを諦めないでくれ……」

ツトムがそう言った後、ケネスはツトム目掛けて強烈な風の錬金術を放ちます。誰もケネスが放った術を止めることはできず、ツトムは錬金術の直撃を受けてしまいます。無残にも、ツトムは殺されてしまいました。

ケネス「全く……守れもしないなら初めから守らなければいものを。だからこうなるのです」

▼ツトムが死んだ状態で、ケネスに勝利した場合

ケネスを倒すことに成功しましたが、ツトムを守ることはできませんでした。ケネスはボロボロになりながらも、PCたちに向かって強気な姿勢を崩しません。

ケネス「勝負に勝って戦いに負けた、といったところでしょうか……。錬成獣を仕留められて、私は満足していますよ、ハハハ……」

ケネスの後始末については、PC②とPC③で話し合って決めてよいでしょう。ケネスについて話をしていると、死んだはずのツトムが息を吹き返しました。

とはいっても、見るからに致命傷です。もう助からないことを、PCたちは悟ります。

ツトムも自分の最期を悟っているようで、PC①に最期の言葉を贈ります。ツトムはPC①と初めて会った日のように、手を重ねながら声を振り絞ります。

ツトム「PC①、ごめんな……こんな形のお別れになっちゃって。お前と過ごした日々、じいさんより短かったけど、同じくらいに楽しかったぞ……。俺は、これからもずっとお前を見守ってる。ずっとずっと、お前の友達でいるからよ……最期の頼み、聞いてくれるか？俺以外にも、友達を作ってくれ。お前を必要とする人が、必ず現れる。だから、お前もその人を大事にしてやってくれ……。怖いことかもしれないが、それが錬金術師として生きていくコツだ。俺はそうじいさんから教わったんだ……」

続けてツトムはPC②に話しかけます。

ツトム「PC②、ありがとうな。出会ったばかりの俺のために、ここまで戦ってくれて……。お前はもう、自分の力で鳥かごから一歩踏み出せたんだ。いい友達が、できるといいな……」

ツトムはさらにPC③に話しかけます。

ツトム「PC③、これがお前の思う友達ってやつなんだな……。ちゃんと止められたじゃないか、すごいよ。でもまあ、これからは友達をちゃんと選んだ方がいいな……できるだけ、最初からいいヤツにした方がいい。それと……錬成獣を殺すばっかじゃなくて、守ることも考えてみたらどうだ？」

PCたちがそれぞれにツトムに返事をすると、ツトムは満足したように笑顔を浮かべて息を引き取ります。PCたちはツトムの亡骸をどうするか決め、その後の描写を話し合ってください。

▼ツトムが生きた状態で、ケネスに勝利した場合

ツトムは気を失っています（場転の時に抗錬成獣剤を投与していない場合、このタイミングで投与することができます。すると凶暴化が解け、体は元の大きさに戻ることでしょう）。PCが呼びかけると、ツトムはゆっくりと目を開けます。自我が残っていること、PCたちも無事なこと、ケネスが倒れていることを確認すると、PCたちに礼を言います。

ツトム「ううう……あいつは、俺は、みんなはどうなったんだ……？ そうか、終わったのか……よかった、本当によかった……。ありがとう、みんな」

ケネスは目的も達せず、PCたちにも敗けてしまい、悔しうに喚き散らしています。

ケネス「クソクソクソクソッ!! どうしてこの私が、神祖ヘルメスの血を受け継ぐ私が敗けるんだ！ こんな連中に……！錬成獣なんて目障りな存在、消そうと思ってなにが悪いというんだ……!!」

ケネスの後始末については、PCたちが話し合って決めてよいでしょう。ツトムはフラフラになりながら立ち上がると、PCたちに近づいてきます。再びの礼と、遠くの土地に行こうと思っていることを告げます。

ツトム「みんな、改めて本当にありがとう。それと……ここまでしてもらって悪いが、この村を出ようと思う。ケネスは倒したが、この騒動が広まれば錬成獣を消そうと思ってる別のやつがやってくる。騒ぎがでかくなれば、この村の人たちに迷惑がかかる。そんなの、じいさんに申し訳が立たない」

ツトムはPC①にも別れを告げます。

ツトム「PC①、お前ともお別れだ。今回はなんとかなったが、やっぱりこれ以上お前を巻き込むわけにはいかないんだ。俺のせいで誰かが傷つくなら、俺は俺が消える方を選ぶ。だから……わかってくれ」

「俺とお前は、これからもずっと友達だ。だけど、お前はお前で信頼できる人間の友達を作れ。俺も俺で、なんとか友達を作ってやってみる。まあ、俺以外にナマケモノの錬成獣が

いるかはわからないけどな……」

「生きていれば、またどこかで会えるさ。そうだろ？」

このとき、PC①は別れを受け入れることも、拒否して逃亡の旅を共にすることも可能です。PC①の選択に応じて、描写を行ってください。

ツトムはPC②に向き直ります。

ツトム「PC②、鳥かごのペットなんて言ってすまなかった。あんたはもう、自分のことをちゃんと自分で伝えられるよ。周りの目をうかがってないで、やりたいことをやってみたらいい。ナマケモノにもできるってこと、これから俺が証明してやる。だから、あんたもこれから見せてくれよ」

ツトムはさらにPC③にも話をします。

ツトム「PC③、なんというか……ケネスは残念だったな。まあ、誰だって間違いはする。間違ってた友人を、あんたは止められたんだ。それはそれですごいことだと思うぞ。だから今度は、あんたが間違った友達を作らないように止めてくれるやつを探すんだな。なに、きっとすぐに見つかるさ。……あ、それと、錬成獣を狩るより、守るほうがよっぽど向いてると思うぞ。あんたの本当の人の良さにお似合いだ」

PCたちに大きく手を振って、ツトムは次の街へと歩いていきます。PCたちも、新たな「友達」を探しに歩き始めます。

これにて「俺のトモダチ」は終了です。お疲れさまでした。

PCの公開情報／非公開情報

PC ①

キメラ 錬成獣の相棒

錬金術師になった際、親友に通報されたことから人間不信になっている。

現在はナマケモノの錬成獣であるツトムと共に生活している。

〈指定〉学派：ルーツレス

PC ②

キメラ 錬成獣保護の会会長

ヘルメスで「錬成獣保護の会」を立ち上げたばかりの錬金術師。

大根田村で初会合を行おうとしている。

〈指定〉学派：神秘結社ヘルメス

PC ③

キメラ 錬成獣ハンター

かつて錬成獣に仲間を殺されたハンター。

友人の錬金術師、ケネス・ランディの依頼で、大根田村で開催される「錬成獣保護の会」の偵察に向かう。

〈指定〉学派：リベリオンズ・ギルド

PC ①／情報深度：1

何の前触れもなく、キミは錬金術師になった。錬金術師になったことには驚いたが、うまく隠せばそれまでと変わらない日常を送れると思った。

そう思って親友に錬金術師になったことを明かしてしまったのが、終わりの始まりだった。親友はキミを怪物を見るような目で見て、躊躇なく通報した。

その親友の行動の方が、あまりにもショックだった。幸いその場は難を逃れたが、誰も信じられない気持ちでいっぱいだった。

全ての関係を断ち、当てもなく彷徨い、人里を離れるようにして流れ着いたのが大根田村だった。

この村の老人たちは、どうみても訳アリのキミに対しても優しくしてくれた。それでもまだ人を信じるのが難しかった自分は、逃げ出すように廃墟へと向かった。

しかし、廃墟には先客のナマケモノがいた。それがツトムとの出会いだった。

突然のナマケモノとの遭遇に動揺する間もなく、ツトムは「待てよ、お前錬金術師だろ？俺はツトム。お前の名前は？」と話しかけてきた。

それからエリクサーの基礎的な扱い方や、キメラの錬成獣のことを教えてくれた。

この時にツトムが触れた手が仄かに温かかったのを覚えている。これがエリクサーの活性化だと知るの、もう少し先の話だ。孤立したキミに手を差し伸べてくれたこと、何よりも「人間でない」ことが、キミを安心させた。

それからツトムとの暮らしが始まった。村の老人たちと少しずつ接するようになり、村に流れてきたルーツレスと最低限の交流を行った。

しかし、人間不信は直せなかった。心の大部分が、ツトムさえいればいいと思っている。

だが、そうも言ってもらえないだろう。ツトムは以前の飼い主について多くを語ろうとしない。

もしかしたら、いつかは飼い主の下に帰ってしまうかもしれない。

キミの目的は「ツトム以外に信頼できる存在を見つけること」だ。

PC② 情報深度：1

キミはヘルメスの両親の下に生まれ、錬金術に囲まれて育った。そして、そのままキミが神祖ヘルメスの学派に入るのはごく自然なことだった。

環境のせい、幼いころから錬金術を扱うことができた。特別力が強かったわけではないが、周りの大人たちがよくしてくれた。それは、キミの背中にある翼状の痣のおかげだった。

両親をはじめ、キミの周りは「トート信仰一派」という、神祖ヘルメスが最初に創ったトキの錬成獣「トート」を崇めていた。そしてキミの痣を見て、トートの生まれ変わりだと祀り上げたのだ。

たしかによくはしてもらった。いい服、いい食事、いい指導……錬金術師として、何不自由なく育てられた。不自由もなかったが、自由もなかった。何をすることも危険だと止められ、同年代の子と遊ぶことも許されなかった。自分がまるで鳥かごのベットのようだと気づいたのは、だいぶ大きくなってからのことだった。

だからキミは、他学派との交流に望みをかけた。キミは、対等な関係である「友達」が欲しかったのだ。周囲の人間を納得させるため、そして自分を動物のように思っているため、自分を大切にしてくれそうな人間を集めるために「錬成獣保護の会」を立ち上げた。

そこに来る者が、キミを鳥かごから出してくれることを夢見て。

キミの目的は「友達を作ること」だ。

PC③ 情報深度：1

キミが錬成獣ハンターを始めたのは、自分が錬成獣に襲われていたところを助けられたというシンプルな動機だ。

そのまま仲間にならないか誘われ、特に居場所もなかったキミは仲間に加えてもらった。

助けてくれた者たちと日々を過ごし、自分にとって「友人」と呼べる存在になっていった。

しかし、錬成獣の相手は危険が伴う。凶暴な錬成獣と対峙するとき、仲間が命を落とすことも珍しくなかった。

1人、また1人。大事な友人が欠けていく。欠けた仲間の分も頑張らなければ、そう思って戦い続けていたら、キミは1人になっていた。もう誰のために戦うこともない。そう自暴自棄になっていたとき、1人の錬成獣ハンターに出会った。それがヘルメスのケネスだった。ケネスはキミの話を親身に聞いてくれた上で、「ならば、私が今からあなたの友人です。共に、仲間の無念を晴らしましょう」と言うてくれた。

それがどれだけ心の支えになったか。キミは、今度はケネスのために戦おうと思った。

ケネスは、キミをあえてヘルメスに勧誘しなかった。ギルドからヘルメスへの移籍は不可能ではないが、不要な軋轢を生むことが多いためだとケネスは言った。

「あなたは私のかけがえのない友人だ。危険な目に合わせたくない」

そう語るケネスの目は、真剣だった。

今回は、ケネスから「錬成獣保護の会」に関する依頼が来ている。母体がヘルメスなので、同門同士の争いになることを避けたいらしい。保護の会に関わっている錬成獣の数を把握すること、もしその中で比較的力の弱そうな錬成獣がいたら、駆除のためにケネスのところに連れていくことが依頼の内容だ。

ただ、もし「ナマケモノの錬成獣」がいた場合は、うまく取り入って信用させろという特別な指示になっていた。

ケネス曰く、この会が開かれる大根田村で、かつてケネスが逃した錬成獣かもしれないそうだ。一見無害だが、内に秘めた危険性が高いとケネスは睨んでいる。

知性をもつナマケモノだから、本人と交渉できればそれでよし。仮に飼い主が居た場合、飼い主と信頼関係を築いて誘導するのもよし。さらに、飼い主の信頼を得るためなら一芝居打ってほしいとまで言っている。

キミの目的は「ケネスの下に弱そうな錬成獣（もし見つければナマケモノの錬成獣）を連れていくこと」だ。

PC ③ / 情報深度 : 2

ケネスのことは友人として頼もしく思っている。錬金術の腕前も確かで、錬成獣の駆除にしっかりとした理念を持っている。だが、このところ違和感がある。必要以上に錬成獣を狩っているのではないか、と思う場面があるのだ。たしかにエリクサーを宿した錬成獣だが、どう見ても脅威にならない子犬も駆除する。前の仲間たちはそこまでしなかった。また、対象が死んだ後も攻撃を続けていたこともあった。実際その錬成獣は強敵だったので、念のためにとどめを刺していたと思っている。

だが、その時微かに笑っているように見えたのは気のせいだろうか……？

キミの真の目的は「ケネスの真意を探ること」だ。

ドラマポイント

No.1	ケネスの下へ
トリガー	PC 全員の参加
PC ③の友人「ケネス・ランディ」が、錬成獣に会いたがっているという。	

No.2	山奥の診療所
トリガー	—
ツトムがかつて暮らしていた診療所。「鳥澤敏行」という医者が経営していた。	

No.3	包囲網
トリガー	—
ツトムが町を出ようとする、修道服の2人組を見つける。ヘルメスの錬金術師に見えるが、地面に何かを書いている。	

No.4	スケープ・ゴート
トリガー	・No.3 の情報をもつ PC の参加 ・ゲスト PC の出演不可
ツトムを逃がすため、それぞれに術式を突破してケネスをかく乱する。	

情報カード

No.1	ケネスの下へ / ツトムの出自
<p>聖堂から逃げ切り人目のつかない場所に入ったところで、ツトムが語ります。</p> <p>「俺は、『鳥澤 敏行』ってじいさんに拾われたんだ。</p> <p>じいさんに聞いた話だと、俺はひどい怪我をして死にかけていたそう。そんな状態だった俺を、錬成獣にする方法で助けてくれた。後になって知ったが、じいさんが俺を拾った場所の近くに金持ちが別荘を持って、珍しい動物が逃げたと騒ぎになっていたらしい。じいさんは俺の体を治すために錬成獣にしたんだが、脳までエリクサーが届いちゃったみたいでな。こうして喋ったりできるようになったのさ。</p> <p>それから俺は、じいさんがこじんまりとやってる診療所の手伝いをするようになった。</p> <p>じいさんと暮らすようになってしばらく経った頃、突然あのケネスって錬金術師が診療所にやってきたんだ。どっかで俺のことを聞きつけたみたいだった。</p> <p>俺のことを見るや否や、いきなり襲い掛かってきたんだ。それで、俺を守ろうとしてじいさんが戦ってくれたんだけど……あいつには勝てなかった。</p> <p>じいさんの犠牲を無駄にしないようって逃げようと思ったんだけど、灯台下暗して言うだろ？ だから大根田村から出ずに隠れることにしたんだ。</p> <p>それで逃げ込んだ廃墟でばったり PC ①に出会って、以来一緒に過ごしてるってわけだ」</p> <p>ツトムは PC たちに、かつて暮らしていた診療所に行きたいと言います。</p> <p>「PC ①、黙っていて悪かった。まさかやつらにまた見つかるなんて……。こうなったら、俺はもうこの町には入れない。ずっとずっと遠くに逃げるよ。</p> <p>でもその前に、最後に診療所に寄らせてくれ。思い出の場所なんだ。よかったら、そこまではついてきて欲しい。</p> <p>それと PC ③、あんたはケネスの仲間ってことは俺の敵ってわけだが……もし俺が暴れようとする、その場で殺してくれても構わない。だから、それまでは生かしてほしい。頼む」</p> <p>【以下ディレクター PC (+演出手助け PC) のみ閲覧可能】</p> <p>ツトムは他の PC に聞こえないよう。こっそりと打ち明けてくれました。</p> <p>「じいさんは口酸っぱく『儂ら錬金術師にとって、人との繋がりは大事なもん。少なくともいいから、頑丈な信頼を結べ』と言っていたよ。俺もじいさんとの繋がりがあったから生きてこれた。この繋がりを、次の人に広めていくのが俺の目標になったんだ」</p> <p>※ PC ①がディレクター PC の場合は、以下のセリフを追加してください。</p> <p>「俺は、このことをお前に伝えなかったんだ。</p> <p>でも、お間は人を信じるのが難しい状態だった。だから、押し付けることになると言えなかったんだ。</p> <p>……こんな状況じゃ、PC ①とお別れをしないとイケないかもしれない。だから、今言っておく。</p> <p>俺以外に、信頼できるやつを見つけてくれ。絶対だぞ」</p>	

No.2 山奥の診療所 / 鳥澤の研究資料

本棚の下に隠し収納があり、そこには鳥澤の長年の研究資料が詰まっていた。
主に『エリクサーを他人に渡す錬金術』についての資料でした。
エリクサーが枯渇した錬金術師を助けるために開発した錬金術だと書かれています。
ただし、与えすぎるとエリクサーが飽和して逆に制御不能になるリスクがあります。その調整に関する研究も行っていました。
ツトムを保護した際の日誌もあり、ツトムに初めて動物相手に錬金術を使用した結果助かったそうです。

知能や感情を手に入れたのは鳥澤にも予想外だったようで、元のナマケモノに戻して然るべき機関に保護してもらおうと考えました。
そうしてエリクサーをツトムの体から放出する『抗錬成獣剤』の研究を始めました。
研究は完成したようですが、それまでに積み重なったツトムとの日々から、投与するかを苦悩したことも書かれていました。

日誌の最後には「もしこの本を儂以外の者が読んでいたら、頼みがある。どうかツトムを、錬金術から解放してやってほしい」と書かれていました。

抗錬成獣剤に関する資料もあり、薬剤の材料、精製方法がきれいにまとめられていました。
資料と一緒に、ジュラルミンケースがありました。中には「抗錬成獣剤」と書かれた注射器が1本入っています。
製法も複雑で、材料に希少な物も含まれているので、新たに精製するのは困難でしょう。

【以下ディレクター PC (+演出手助け PC) のみ閲覧可能】

ジョーカー『抗錬成獣剤』を入手します。

※演出手助け PC がいた場合、どちらが入手するか相談してください。原則として、ディレクター PC を優先してください。

No.3 包囲網 / 錬金術師への尋問

ケネスの部下たちは観念し、情報を吐きます。
術式は大根田村を覆うように何か所も配置されており、術式と術式の間を通るエリクサーを感知する仕組みになっています。
また、時間の経過と共に徐々に縮小する特性があるため、動かずに隠れている相手でも発見できます。
ただし、感知できるのはエリクサーの量だけです。通過した個人を特定できるような物ではありません。
そのため、基本的には感知した場所に直接向かって確認するしかありません。
ケネスは修士級の錬金術師で、【風よ、行路を走れ】を自己流で発展させるほどの熟練者です。
風を操って高速移動することで、この包囲術式の欠点を補っています。

ケネスの錬金術の腕前を良く知る部下たちは、逃げ切れるわけがないと嘲笑します。
その傍らでツトムが、同時に複数の場所から逃げ出せばチャンスがあるのではないかと気づきます。
この指摘に部下たちは動揺を見せず。どうやら可能性がありそうです。

【以下ディレクター PC (+演出手助け PC) のみ閲覧可能】

ケネスの部下が耳打ちしてきました。

「特別に、あんただけに教えてやる。ケネスさんに対峙した錬成獣は、どいつもこいつも凶暴化するんだ。

死に対する本能かはわからんが、どうせそのナマケモノもそうなる。そしたら、お前たちだって狩るしかないだろうさ」

No.4 スケープ・ゴート / ケネスとの対話

妨害されたケネスは、大きなため息をついてPCに向き直ります。

「あなた方がここまでする義理が、あの錬成獣に対してあるのですか？

野生の本能で人を襲うようになる危険性を持っているのですよ？

私は、神祖ヘルメスが広めた錬金術で誰かが悲しむところなんて見たくない…ただそれだけなんです。

あのツトムとかいうナマケモノの飼い主も、哀れな男でした。

あの男の独自の錬金術で、私はしばらくエリクサーがうまく使えなくなってしまうてね。その間に遠くに逃げてしまっただろうと諦めていましたが……まさかまだ村にいたとは。

これではただの無駄死にはないですか。錬成獣なんでものに関わったから、そんな末路をたどるのです。

さて……時間稼ぎもこれまでです。次の場所に向かわなくては」

そう言うと、ケネスは他のPCが囿になったであろう方向へと飛んで行ってしまいます。

【以下ディレクター PC (+演出手助け PC) のみ閲覧可能】

ケネスはメモを落としていきました。

中身は「狂化剤」と書かれた薬剤のレシピのようです。

この薬剤を投与された者は、制御不能なほど爆発的にエリクサーが増加してしまいます。

脳にも影響が及んで攻撃的になり、エリクサーが尽きるまで暴れ回ります。

メモの裏側には「緊急中和剤」と書かれ、また別のレシピが書かれています。

こちらの内容は鳥澤が遺した抗錬成獣剤と一致しています。

エネミーデータ

Lv. 4	ケネス・ランディ			身体	意思	神秘
				40	20	50
No	コスト	錬金術	効果			
①	6	神祖への祈り	自身が行う攻撃のロールダイスを+3D、ピックダイスを+2Dする。【サポート/ロール前/自身】			
②						
③	4	熱風よ、天蓋を降ろせ	任意のキャラクター（第三勢力を含む）の任意の属性へ4D▶3DのDMを与える。【アタック】			
④	4	欺瞞の堅琴	対象が行った攻撃の最終的なDMが算出してから発動する。 自身に対する属性1つのみへの攻撃を、別の属性へと変更する【サポート/終了時/自身】			
⑤	5	暴風よ、我を誘え	任意のキャラクター（第三勢力を含む）の「身体」か「神秘」へ5D▶4DのDMを与える。【アタック】			
⑥	9	血よ、風と踊れ	任意のPCの任意の属性に30点DMを与える。 その後4D▶2Dのチェックを行い、合計が達成値になるようストックを減らす。【アタック】			
◎【誇りと信仰】			◎【選民思想】			
1stウルダイス獲得時、任意のダイス2個の出目を変更する。			「学派：神秘結社ヘルメス」または「専攻：エレメント」以外のキャラクターに攻撃する時、ピックダイスを+1Dする。			
ヘルメスに属する修士級の錬金術師。純血派の中でも過激な思想を持ち、錬成獣を存在ごと嫌悪している。自身の能力と出自に強い誇りを持っており、純血派以外の錬金術師を見下している。						

Lv. 1	シチュエーション1 感知術式		シチュエーション解決方法
			神秘に20点以上のDM
アクション	効果		
錬成誘爆	ランダムなPCの「神秘」に10点DMを与える。		
ケネスの部下たちが展開する術式。ケネスを中心に、球状にランダムな収縮を繰り返している。ケネスと部下以外のエリクサーを検知すると自動で爆発する。			

Lv. 2	ヘルメス純血派	身体	意思	神秘
		20	10	20
アクション		効果		
雄弁な箠笛		任意のPCの「意志」か「神秘」に3D▶2DのDMを与える。		
<p>◎【忠誠心】</p> <p>ケネスの「意志」がブレイクしていない場合、ロールダイスを+1D、ピクダイスを+1Dする。</p>				
<p>ケネスの部下でヘルメスの錬金術師。準学士級の腕前を持つ。</p>				

Lv. 2	ツトム(暴走状態)	身体	意思	神秘
		30	20	0
アクション		効果		
暴走する爪牙		ランダムなPCの「身体」に4D▶4DのDMを与える。		
<p>◎【過剰エリクサー状態】</p> <p>「身体」がブレイクされた場合、死亡する。 「意志」がブレイクされた場合、死亡せずに戦闘から離脱する。</p>				
<p>狂化薬を投与されて凶暴になってしまったツトム。 もはやナマケモノとは呼べない猛獣の姿になっている。</p>				